

国際公共政策研究センター  
主任研究員 神野

## ロシア自動車市場の状況

ロシア大統領府のロマキン調査分析局長は、昨年12月に我々と面談した際、ロシア政府は国内の自動車産業の振興を重視しており、2010年2月にロシア自動車産業発展戦略に関する公式文書を公表する予定であることを明らかにした。

そこで最近のロシアの自動車市場の状況について、先月発表された欧州企業連盟（Association of European Businesses）のレポート及びPrice Water House Coopersのレポート“Prospects for the Russian automotive market”等を参考に見ていく。

### 1. 2009年のロシア自動車販売市場

#### (1)概説

2009年、ロシアの自動車販売は、台数ベースで前年比-56%、金額ベースで-61%の減少と大きく落ち込んだ（図表1）。これは金融危機の影響、特にロシア国内の高金利による自動車ローンの事実上の停止等が大きく影響している。

カテゴリー別に見ると、ロシア国内で生産された外資系メーカーの車が他メーカーに比べ危機の影響が小さかったといえるが、関税引き上げ等により輸入車販売は大きく減少し、特に2009年1月1日に中古車輸入関税が大幅に引き上げられたことから輸入中古車市場は崩壊し、台数・金額とも-97%となった。

図表1:2009年ロシア国内自動車販売実績

	台数(千台)			金額(10億ドル)		
	2009	2008	変化率	2009	2008	変化率
ロシア車	390	700	▲44%	3.5	6.5	▲47%
ロシア国内製外国車	360	580	▲38%	6.1	10.5	▲43%
輸入新車	640	1,500	▲57%	17	45	▲62%
輸入中古車	12	395	▲97%	0.2	7	▲97%
合計	1,402	3,175	▲56%	26.8	69	▲61%

(資料)Price Water House Coopers“Prospects for the Russian automotive market”

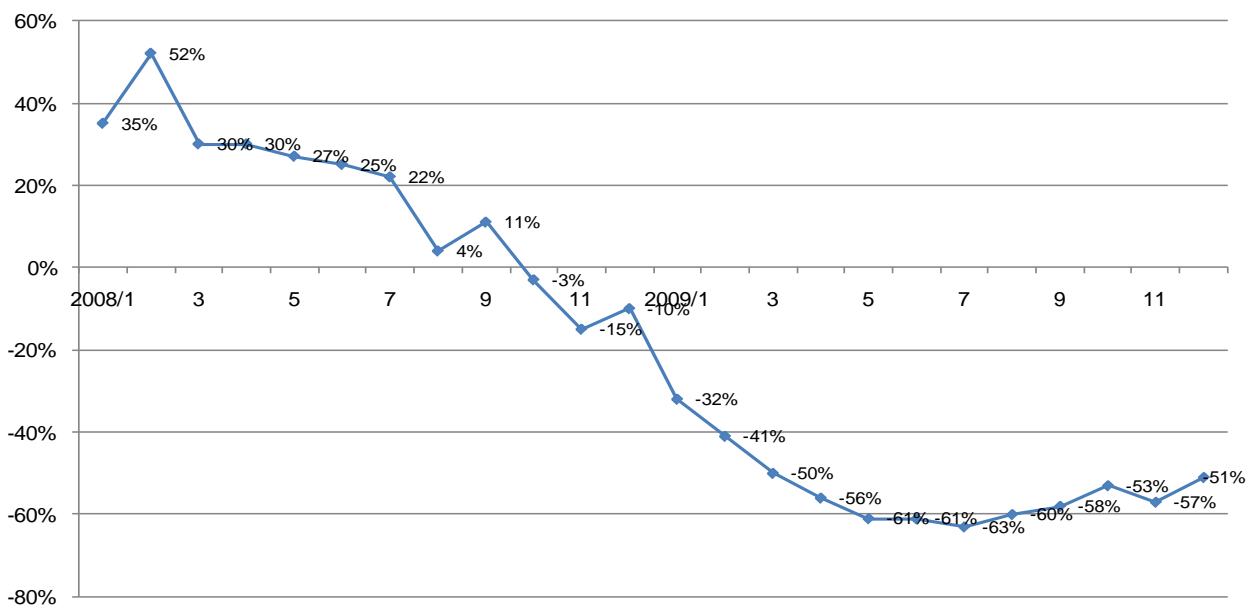
#### (2)月次増加率推移

毎月の販売台数の前年同月比増加率を見ると（図表2）、08年前半は30%~50%台の高い伸び率を示していたが、金融危機が発生した秋以降減少に転じ、09年央には前年比60%以上の大きな

マイナスとなった。その後 09 年 9 月以降減少幅がマイナス 50%台になり、落ち着きを見せている。

ロマキン調査分析局長は「ロシア政府は他国政府と同様新車購入を促進するために本格的な需要刺激策を決定してきた。これまである程度効果があったのは 60 万ルーブルを上限とした自動車ローンの金利の補助措置である。」と語っていたが、販売台数には大きな回復は見られていない。

図表 2: 販売台数前年同月比増加率推移

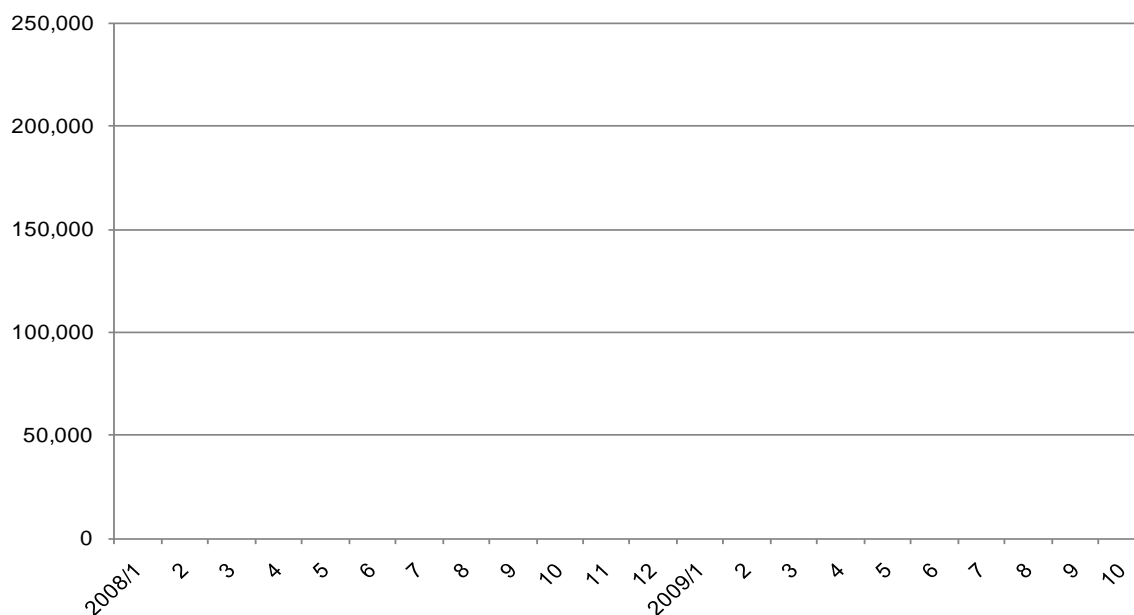


(資料)図表 1 と同じ

### (3) 乗用車輸入台数

前述のとおり 09 年 1 月からの中古車輸入関税の大幅引き上げにより、同月から上昇者輸入台数が激減した。08 年 8 月には月間 20 万台程度の輸入台数が、09 年には毎月 3 万台～5 万台まで落ち込んだ。

図表 3: 乗用車輸入台数月別推移



(資料)CEIC

## 2. メーカー別新車販売状況

主要自動車メーカーの08年及び09年新車販売実績は図表4、5のとおり。

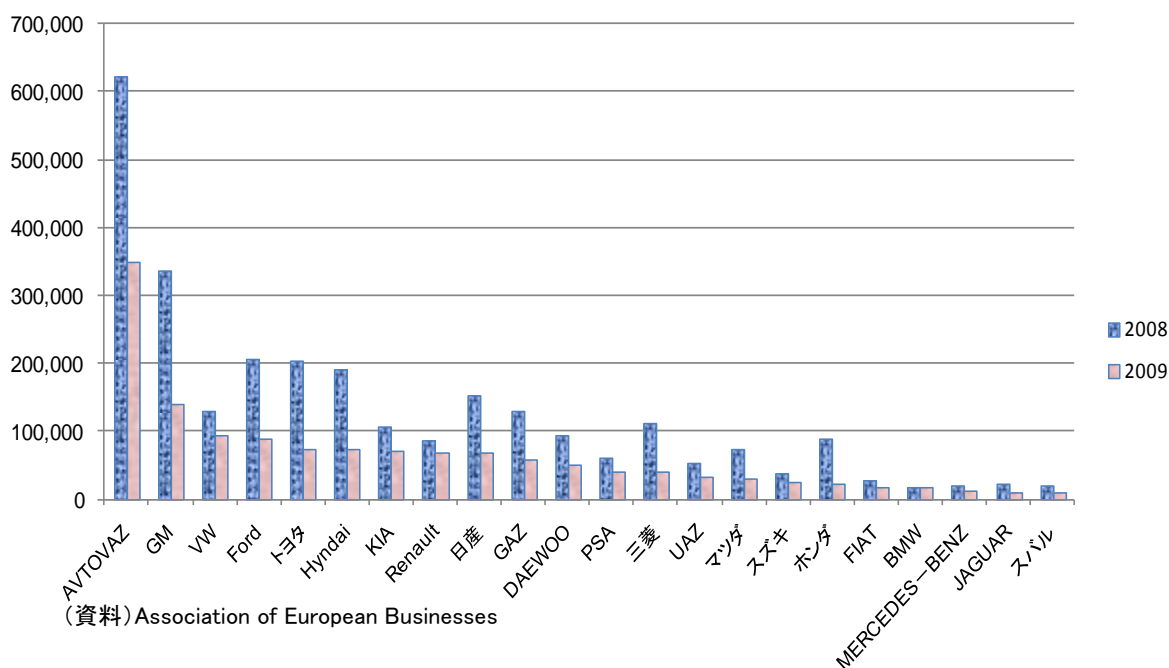
最も販売台数が多いメーカーはロシア国産のAVTOVAZであるが、それ以下は外資系メーカーの販売台数が多い。09年の新車販売台数は前年比-49%。

図表4: 主要メーカー別新車販売台数

	2008	2009	変化率
AVTOVAZ	622,182	349,490	-44%
GM	337,810	141,695	-58%
VW	131,017	94,018	-28%
Ford	207,869	88,977	-57%
トヨタ	204,762	75,131	-63%
Hyundai	192,719	74,607	-61%
KIA	108,070	72,284	-33%
Renault	88,152	70,088	-20%
日産	154,341	68,851	-55%
GAZ	131,003	58,205	-56%
DAEWOO	95,510	51,414	-46%
PSA	60,330	42,136	-30%
三菱	111,567	41,354	-63%
UAZ	53,773	34,660	-36%
マツダ	73,271	30,643	-58%
スズキ	38,314	25,335	-34%
ホンダ	89,152	23,222	-74%
FIAT	27,227	18,830	-31%
BMW	19,236	17,036	-11%
MERCEDES-BENZ	19,827	13,435	-32%
JAGUAR	22,122	10,208	-54%
スバル	21,780	9,585	-56%

(資料) Association of European Businesses

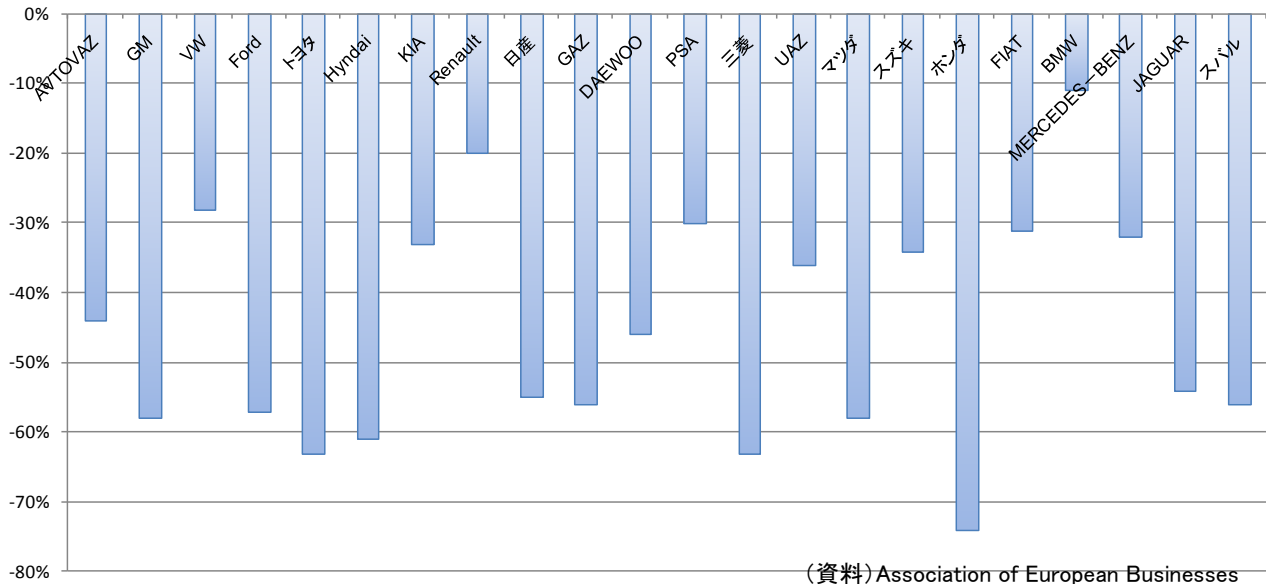
図表5: 主要メーカー別新車販売台数(グラフ)



(注)図表中のロシアメーカーは、AUTVAZ、GAZ、UAZ.

メーカー別に減少幅を比較すると、減少幅が少ないのは BMW (-11%)、KIA (-20%)、VW (-28%)、PSA (-30%) であるが、日本メーカーは、ホンダ (-74%)、トヨタ (-63%)、三菱 (-63%)、マツダ (-58%) と減少幅が大きく、不振が目立つ。また、BMW を始めとして JAGUAR、メルセデス・ベンツなど高級車メーカーの減少幅が比較的小さくなっている(図表 6)。

図表 6: メーカー別新車販売台数減少率(08 年/09 年)



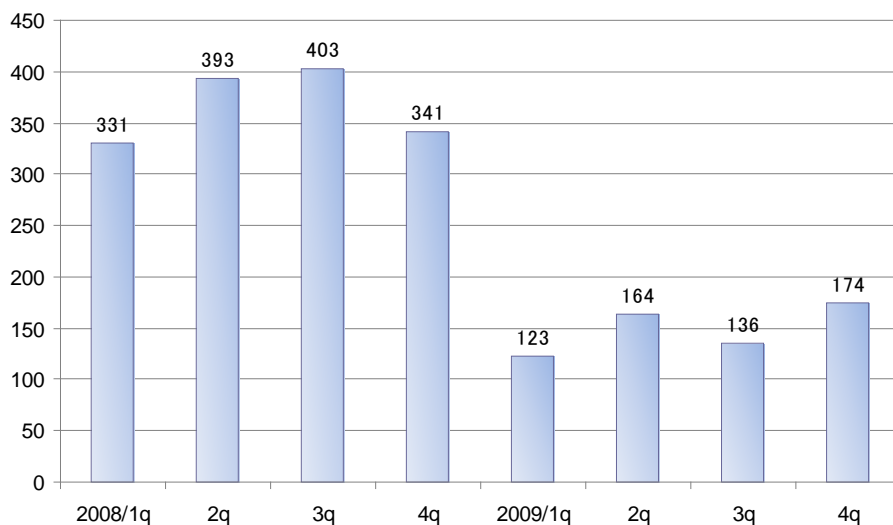
### 3. 乗用車生産台数

次に四半期ごとの乗用車の国内生産台数推移を見ると、08 年第 3 四半期までは増加傾向にあったが 09 年第 1 四半期から大きく減少し 3 分の 1 近くの水準まで落ち込んだ。これは需要の急激な縮小と過剰在庫に対応して各メーカーとも生産調整を進めたことによる。

09 年には在庫調整が進んだことから、生産台数は 2010 年に増加に転じる見込み。

図表 7: ロシア国内乗用車生産台数推移

単位: 千台



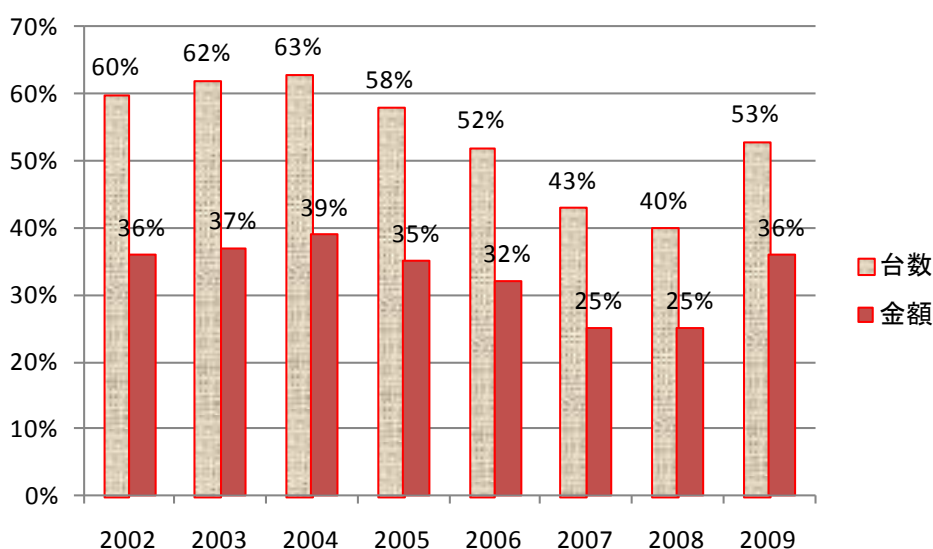
#### 4. ロシア国内生産車シェア

ロシアでは海外メーカーの現地生産が増加しており、日本メーカーもトヨタ、日産、三菱、いすゞ（合併）が現地生産を行っている（スズキも進出決定済み）。これらは国内生産車として取り扱われるが、総販売台数及び販売価格に占める国内生産車シェアは低下傾向にあり、輸入車シェアが上昇してきた。

しかし、09年に輸入関税の大幅増税があり、さらにルーブル安とロシア国産車を対象とする自動車ローン優遇措置が行われたことで国内生産車のシェアが上昇に転じた。（図表8）。

また、ロシア政府は『2010年ロシア連邦政府危機対策ガイドライン』（ОСНОВНЫЕ НАПРАВЛЕНИЯ АНТИКРИЗИСНЫХ ДЕЙСТВИЙ ПРАВИТЕЛЬСТВА РОССИЙСКОЙ ФЕДЕРАЦИИ НА 2010 ГОД）の中の「国内需要刺激策」の1つとして、国内生産新車買替に対する補助金支出を行うこととしており、この傾向は10年も継続するものと見られる。

図表8:ロシア国内生産車シェア推移



（資料）Price Water House Coopers “Prospects for the Russian automotive market”

「ロシア自動車産業発展プログラム」の内容については、公表され次第報告の予定。

以上

#### 《参考》国内産新車買替支援プログラムの内容

- ・ プログラムは2010年3月8日から開始。
- ・ 1999年以前に生産された重量3.5トン以下の国産車で、同一のオーナーが1年間以上保有している車を新車に買い替える際に50,000ルーブル（約1,700ドル）のバウチャーを支給する。
- ・ そのための2010年予算措置額は100億ルーブル（約3億4,000万ドル）で、2010年に20万台を対象とする。
- ・ バウチャーの対象はVAZ、Lada、GAZ、UAZのロシアの自動車メーカー及びロシア国内の組み立てプラントで完成車を生産する外国メーカーの車でスクラップ基準を満たすもの。60～65モデルが該当。
- ・ 政府公認ディーラーが買替対象車の登録を抹消した上でリサイクルセンターに運搬し、確認のうえバウチャーを発行する。ディーラーに対し1台につき3,000ルーブルの運搬費を補助する。予算額10億ルーブル。